

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		旧東京音楽学校奏楽堂管理運営				所管	文化産業観光部 文化振興課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	67	計画事業名	文化施設の活用		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出						[事業開始] 昭和62年度		
		[小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり						[終了予定] - 年度		
		[施 策] ①文化に触れる機会の充実								
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		東京都台東区立旧東京音楽学校奏楽堂条例、同施行規則					
	事業対象	直接の対象 : 区民をはじめ、広く一般 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	奏楽堂は昭和58年に東京藝術大学より寄贈を受けた。日本最初の木造洋式音楽ホールで、国の重要文化財である奏楽堂を「生きた文化財」として活用することにより、芸術文化の振興を図る。								
事業内容 [29年度]	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持、管理</li> <li>音楽に関する資料の収集、保管</li> </ul> ※施設改修工事のため平成25年4月から休館中、平成30年11月リニューアルオープン予定									
委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容		(公財)台東区芸術文化財団を指定管理者とし、管理運営を委託している。						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率			
	活動指標	開館日数	日	308	-	-	-	-	-	
		ホール利用可能日数	日	193	-	-	-	-	-	
	成果指標	施設一般公開入館者数	人	22,000	-	-	-	-	-	
		ホール利用件数	件	187	-	-	-	-	-	
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				20,274		16,126		16,546
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				1,203		1,248		2,011
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				20,275		16,126		16,546
		総経費				0		0		0
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				21,478		17,374		18,557	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0	
	一般財源(区負担額)				21,478		17,374		18,557	
前回評価から29年度に改善した事項	改修工事のため休館中であるが保存活用工事の様子をインターネットで周知した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	東京藝術大学から区に寄贈後、国の重要文化財に指定された奏楽堂は、日本最初の木造洋式音楽ホールであり、区民をはじめ多くの方々の芸術文化振興に必要とされている施設である。平成30年11月のリニューアルオープン後においては、一層の活用を図る必要がある。							
	効率性	3	重要文化財である施設はもちろん、楽器や貴重な寄贈資料等の備品においても適切な維持管理等に努め、最小限の経費で効率的な運営を行っている。							
	手段の適切性	3	指定管理者の専門性を活かしながら、保有する楽器・寄贈資料等について、特に貴重なものは専門の民間倉庫に保管するなど、適切な備品管理を行なった。							
目的達成度	3	保有する楽器・資料の適切な維持管理を行い、国の重要文化財である奏楽堂を「生きた文化財」として活用する準備が整っている。また、リニューアルオープンに向けての周知体制も整っている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		
休館中ではあるが、重要文化財である施設はもちろん、楽器や寄贈資料等の備品においても適切な維持管理等に努めた。リニューアルオープン後は、早期に安定的な施設運営を実現し、円滑に事業を推進していく。						維持				